

一般質問 5 再質問 介護保険事業の現状について 2024 年第 4 回定例会

2024 年 12 月 3 日 町田市議会議員 無所属会派 吉田つとむ

表題 5 介護保険事業の現状について

- (1) 現状の課題はなにか
- (2) 展望はどうか

今回の質問は、表題としているが、そこで働く人の事を中心に考えたい。一般に介護職では、離職者が多いと言われているが、実態をどうで、どのような試みがなされているかを尋ねたい。

なお、第一質問と第一答弁を除いて、次は個別ごとの再質問であり、5 番目に設定した、「介護保険事業の現状について」は、残された質疑応答時間がわずか 3 分ほどであった。おのずと、深堀の質問はそもそも不可能であったなかでの質問であった。

最初の答弁では、一通りの現状の説明がありました。

<再質問>

今話してもらった中で、訪問介護事業について尋ねたい。

その事業で単価切り下げという事態があったと思うが、その就業者にとってどのような影響が出ているか。このことは、就業者の離職傾向とリンクするものか、質問自体が答えにくいものかも知れないが、可能な範囲で尋ねたい。

また、「介護報酬」というものの中で、介護の単位数計算でその測定に関して、その往復時間というのは、きっちり含まれているものか、それとも概算で算定されるものか。

答弁では、就業者に全体としてプラスになる見込みで設定されており、町田市は、区部の次に高い設定になっているので、特に問題を指摘されていないというものでした。

<再々質問>

介護事業費の収入に関して、そこで働く人とその事業所の運営費用と比べた時、事業管理者への配分は当初から想定されているものか、それとも別途の考え方によるものか。

を尋ねたいしました。

答弁では、介護報酬を通じての支払いで設定されている説明であり、就業者不足と言われる時代に、事業管理者の配分が十分に行えるとは思えないものであった。

#介護保険事業の現状,#介護職離職者,#介護報酬,#就業者,#事業管理者,#介護の単位数計算,#介護事業費,#往復時間,#町田市議会議員,#吉田つとむ,